

ご意見の内容及びご意見に対するご回答

意見提出元：株式会社インテック

| No | 該当箇所 | ご意見の内容 | ご回答 |
|----|------|---|---|
| 1 | － | <p>【スマートメータ通信ネットワーク(MDMS インターフェース)に関する意見】</p> <p><意見内容></p> <p>MDMS インターフェースは、標準化されているオープンな相互接続実績のある仕様として頂きたい。</p> <p><理由></p> <p>標準化されているオープンな相互接続性のある仕様を用いることで、費用対効果が高くなると考える。</p> | <p>メーターデータを集約する MDMS と第三者が設置する外部システムとの連携部分は、相互接続性の確保、システム連携に要する開発期間の短縮化およびコスト抑制の観点から、オープンで標準化されたインターフェース規格に準拠することを基本とします。</p> |
| 2 | － | <p>【HEMS 側通信インターフェースに関する意見】</p> <p><意見内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点で提供する項目は「電力量(30 分積算値)」「逆潮流値(30 分積算値)」「時刻情報」の3つとしているが、「電力(瞬時値)」および「電流値」も初期仕様を含めて頂きたい。 ・追加項目の「電力(瞬時値)」および「電流値」はHEMSからの要求時通信を基本とするが、以下の設定機能の追加により、スマートメータ起点の通信も可能として頂きたい。 ・スマートメータとHEMS間の通信頻度を低減させる目的として、事前に設定した「電力(瞬時値)」または「電流値」を超えた場合に、速やかにスマートメータを起点とするHEMSへの当該値の通信を行う機能および、そのためのスマートメータ設定インターフェースを仕様追加頂きたい。 <p><理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力量の 30 分積算値は、総使用電力量の削減にある程度有効であるが、消費電力のピーク抑制には、それだけでは不十分である。 ・今後普及が見込まれる太陽光発電、ガスコジェネや家庭用蓄電池を連携し、家庭内の電 | <p>スマートメータと HEMS との情報連携(B ルート)については、「スマートハウス標準化検討会中間取りまとめ」(平成 24 年 2 月 24 日)の結果にしたがって、IP および ECHONET-Lite を実装することとし、現時点で提供するデータ項目は、「電力量(30 分積算値)」「逆潮流値(30 分積算値)」「時刻情報」を適用します。また、将来的に提供するデータ項目については、いただいたご意見も参考にしながら、当社も参画する「スマートハウス・ビル標準・事業促進検討会(事務局:経済産業省)」等において提言を行うとともに、当該検討会等での議論を踏まえて仕様を</p> |

| | | |
|--|--|------------------------|
| | <p>力使用をHEMSで最適化するためには、「電力(瞬時値)」および「電流値」が不可欠である。</p> <ul style="list-style-type: none">・HEMSの有効活用は、適切な電力使用による電気料金の節約という需要化側のメリットだけでなく、需要のピーク抑制および平準化などによる電気事業者側の予備発電能力の削減に寄与するものであり、スマートメータの基本的な仕様として、初期導入時より対応すべき事項であるとする。 | <p>策定し、実装することとします。</p> |
|--|--|------------------------|